

本会は以下の科学研究費補助金基盤研究(c)の助成を受けています。

・「障害当事者が行うアドボカシーの研修プログラムの開発及び普及に向けたシステムの構築」(研究代表 坂本智代枝、20K02247)
・「精神障害当事者の語りを生かした対話型福祉教育プログラムモデルの開発」(研究代表 栄セツコ、JP23K01865)

参加費

無料

✓要申込

✓後日動画配信有

公開講演会

ピア(当事者)が行うアドボカシー(※)は、身近な自分の権利を学ぶことから始まります。今回、オーストラリアにおけるピアアドボカシー活動をけん引してこられたジャネット・マアーさんに来日頂けることとなり、ピア(当事者)が行うアドボカシーを学ぶ機会として、本講演会を企画しました。講演会の後半には、日本のピアスタッフやピアスタッフと働く支援者の立場からの話題提供も予定しています。本講演会をきっかけとし、ピアによるアドボカシーとは何か? どんなことが必要か? を語り合いたいと思います。

(※)アドボカシーとは…自分の権利を知ること、意思表示、主張すること、他者の意思表示や権利の主張をサポートすること、代弁すること。

アドボカシー・リカバリー・ピアワーク

【日程】2023年12月9日(土)

【時間】12:45~16:20(受付12時~)

【会場】大正大学 5号館3階(531教室)

【対象】ご関心あるかたならどなたでも

【講師】ジャネット・マアー氏

<第2部 話題提供>

【話題提供者】

矢部 滋也 氏 (一社)北海道ピアサポート協会
中田 健士 氏 (株)MARS

【助言者】ジャネット・マアー 氏

【コーディネーター(1部・2部)】

坂本 智代枝 氏 (大正大学)



Janet Meagher 氏

ジャネットさんは自らの精神疾患の体験を、コンシューマー(※精神保健サービスの利用者)の声を促進するために活用し、精神疾患の体験を持つ人々が精神保健システムのあらゆるレベルのリーダーになるよう提唱してきました。2017年にオーストラリアメンタルヘルス賞を受賞。30年以上精神保健コンシューマーとしてアドボカシー活動を続け、そのうちの20年以上は国家レベルの幅広い経験を積まれています。また、元オーストラリア精神保健委員会委員、世界精神保健連盟の理事後に名誉幹事を務め、精神保健コンシューマー組織の創立にも携わった経験をお持ちです。

※当日は通訳が付きます

通訳:工藤 真士 氏 (フリーランス)

通訳:宮本 有紀 氏 (東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野)

【参加方法】

※以下の2つの方法をご用意しています
※どちらの方法でも、申込みが必要です

- ① 会場参加(定員80名)
- ② 後日動画視聴
(リアル配信ではありません)

<申込方法>

1. 以下のURLまたはQRにアクセスする

<https://peer120910.peatix.com>

2. 必要事項を入力する
3. チケットを選択し送信する



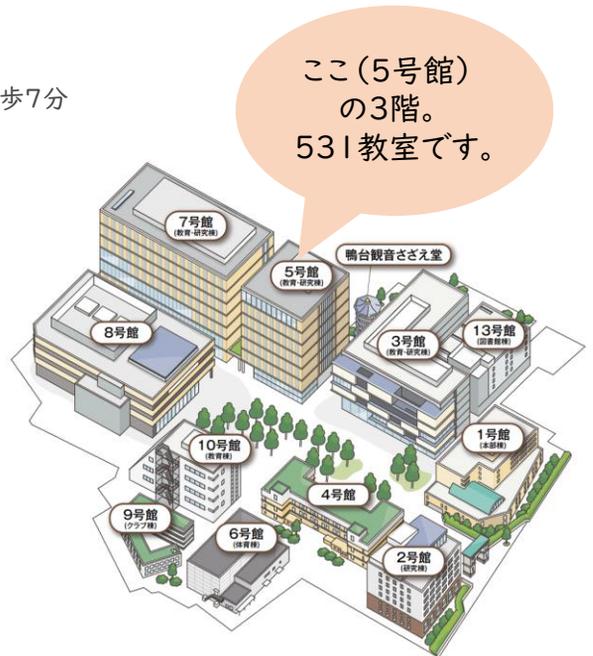
※会場参加の方にも、後日動画配信のご案内をお送りします。その為、①と②両方へのお申込みすることはお控え下さい。
※なお、全国ピアスタッフの集いに両日参加される方の場合、別途定員枠をご用意しています。

当日の予定

前半 (12:45~15:20) ※途中休憩あり	後半 (15:20~16:20)
<ul style="list-style-type: none"> 開会の挨拶 講演会主旨説明, 講師紹介等 ジャネット・マアーさんによるご講演 <p>【講演会司会】 栄 セツコ 氏 (桃山学院大学)</p> <p>【通訳】 工藤 真士氏 (フリーランス) 宮本 有紀 氏 (東京大学大学院医学系研究科 精神看護学分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演に際する質疑応答 日本のピアスタッフ等より話題提供 閉会の挨拶 <p>【話題提供者】 矢部 滋也 氏 (一般社団法人 北海道ピアサポート協会) 中田 健士 氏 (株式会社 MARS)</p> <p>【助言者】ジャネット・マアー 氏 【コーディネーター(1部・2部)】坂本 智代枝 氏 (大正大学)</p>

会場案内

- ①都営地下鉄三田線… 西巢鴨駅下車A3出口 徒歩2分
 - ②JR埼京線……………板橋駅東口下車 徒歩10分、
 - ③都電荒川線……………庚申塚駅又は新庚申塚駅下車 徒歩7分
- ※お車でのご来場はお控えください(駐車場はありません)

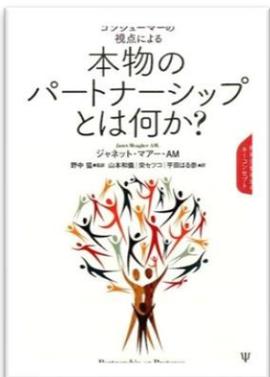


ジャネット・マアーさん (Janet Meagher さん) の翻訳本について



2015年に日本でご著書の翻訳本を出版されています。

書籍名 : コンシューマーの視点による本物のパートナーシップとは何か?
 著者 : ジャネット・マアー (著), 野中 猛 (監訳), 山本 和儀・栄 セツコ・平田 はる奈 (翻訳)
 出版元 : 金剛出版、発売日 : 2015/12/12



<紹介文>

近年、「精神障害をもつ方々がその人らしく生活し、学び、意義ある仕事ができる地域づくり」が進められている。そのためには、本人と支援をする側とのパートナーシップが必要不可欠である。精神保健福祉領域における専門職の方々も、頭の中では、精神障害をもつ当事者の方々の立場を大切に、リカバリーを支援し、より良いパートナーシップを築くことが必要である、ということはわかっている。しかし、それを実践することは容易ではない。本書は40年以上にわたり統合失調症とつきあい、その中の10年間は病院で暮らし、思い切って意見を述べたり、個人の権利を主張したりすることがいかに難しいことかを身をもって経験した著者が、いろいろ試してきたアイデアをまとめた本である。「すべての人に新しい方向性を選ぶ権利がある」のに「これまでと違った見方をすることは、たいてい簡単に否定されてしまう」と著者は言う。人は誰も前へ進む力がある。困難な壁を前にしても、何度でも立ち止まり、考え込んで話し合い、後戻りをしては信念を貫き、実現を目指す大切さを実感していただきたい。この本にはそのためのヒントがたくさん詰まっている。